



なごや環境大学 共育ゼミナール

ユニバーサルデザインで自然の扉を開こう



庄内緑地ネイチャア・フィーリング自然観察会

2020年3月

目次

1. はじめに 活動事業「ユニバーサルデザインで自然の扉を開こう」について
 - (1) 活動体制
 - (2) 活動の連携先
2. 「きせつを見つけよう」プロジェクトについて
 - (1) 趣旨
 - (2) 概要
 - ①セルフガイド用ルートマップ&観察ガイドの作成
 - 「春を見つけよう」
 - 「秋をみつけよう」
 - 「どんぐり見つけ」
 - 「庄内緑地で見られる昆虫について」
 - 「じゃぶじゃぶ池の生き物について」
 - 「葉っぱで見つけよう庄内緑地の木々」(葉っぱノート)
 - ②雑草園の開設と観察
 - (3) 活動状況
3. 「しぜんとなかよしフィールドブック」プロジェクトについて
 - (1) 趣旨
 - (2) 概要
4. 成果物「しぜんとなかよしフィールドブック」(別冊)
5. まとめ
6. 今後の活動予定
 - (1) 「きせつを見つけよう」プロジェクト
 - セルフガイドシートについて
 - 雑草園について
 - (2) 「しぜんとなかよしフィールドブック」プロジェクト

1. はじめに 活動事業「ユニバーサルデザインで自然の扉を開こう」について

庄内緑地ネイチャ・フィーリング自然観察会(以下、庄内緑地NFと略します)は2002年から、障がいのあるなしのかかわらずだれでも自然の素晴らしさをともに楽しんでもらいたいとの思いで、庄内緑地で自然観察会を行っています。

毎回、子どもや障がいのあるかたも含めて多様な方々の参加があります。これは、庄内緑地の豊かな自然が大きな魅力となっているからとも考えます。

庄内緑地には、日々いろいろな方が身近な自然を気軽に楽しみに見えます。自然観察会活動で蓄積したノウハウを活用して、自然の魅力を見つける手助けを担うセルフガイドシート「きせつを見つけよう」を作成することは、庄内緑地NFならではの役目と思います。

庄内緑地NFは2011年から小学校特別支援学級向けの環境学習プログラムの出前授業を行っています。9年間の経験をもとに、児童たちが四季を通じて自然と継続してかかわれる、「しぜんとなかよしフィールドブック」の冊子を作ることを目指します。

セルフガイドシートの提案もフィールドブック作りも、庄内緑地NFの自然観察会の内だけにとらわれない活動であり「ユニバーサルデザインで自然の扉を開こう」の事業テーマを具現化するものと考えます。

- (1) 活動体制～二つの活動目標の「きせつを見つけよう」と「しぜんとなかよしフィールドブック」に対応してそれぞれに部会を設けました。
 - ・「きせつを見つけよう」部会～庄内緑地NFの活動メンバー14名
庄内緑地ネイチャ・フィーリング自然観察会の観察会(年6回)と庄内緑地事務所主催の「親子で遊ぼう会」(年4回)において「きせつを見つけよう」の内容を織り込んだ活動を通じてセルフガイドシートの作りこみをします。
 - ・「しぜんとなかよしフィールドブック」部会編集委員9名
年6回の編集部会を行い、フィールドブックの内容、レイアウト、製本スタイルなど、フィールドブックの作りこみをします。
- (2) 活動の連携先
 - ・「きせつを見つけよう」
まず、庄内緑地事務所の管理者に活動の趣旨を説明し協力をお願いをし、内諾をいただきました。
 - ・フィールドブック
名古屋学芸大学井垣先生の教室に協力をお願いしてイラストやデザインについて支援を願うことができました。
 - ・冊子の製作については環境学習センターに支援をお願いしたいと思っています。

2. 「きせつを見つけよう」プロジェクトについて

(1) 趣旨

庄内緑地に立ち寄った来園者が公園の自然案内「きせつを見つけよう」（仮称）を見ながら、より豊かに庄内緑地の自然を楽しめるよう、自然の扉を開くきっかけを作ります。
特に、障がいの有無や年齢の差などの壁を取り除き、だれでも自然の扉を開いて、自然の楽しさを味わえるように配慮します。

(2) 概要

6種類の「きせつを見つけよう」ガイド資料の作成と「雑草園」の新設を行います。

①「きせつを見つけよう」について

- ・ルートマップの作成を行います

「春を見つけよう」

「秋を見つけよう」

「どんぐり見つけ」

各ルートマップとも、観察会での試行を行って参加者の反応を取り入れて設定します。

- ・昆虫などは特性上、ピンポイントでの場所の表示は難しいが、庄内緑地の自然として欠かすことができないので観察ガイドとして取り上げます。

「園内の昆虫観察ガイド」

「じゃぶじゃぶ池の生き物観察ガイド」

- ・「葉っぱノート」の作成

園内の代表的樹木について、特に葉っぱを中心に分かりやすく紹介します。より興味を持ってもらうことができるよう工夫しています。

②雑草園の新設をしました。

雑草園として庄内緑地内に2か所新設しました。（庄内緑地事務所の承認をいただいています）

来園者が自由に継続的に観察できる場所があると、雑草の変化を見続けることができ、季節ごとの発見ができるものと期待されます。

なお、雑草園の内1か所は、どんぐりの実を植え付けて、どんぐりの実生を育てています。こちらでも継続的な観察を行い、将来的には園内の空き地に移植できたらと思っています。

NO	観察の場所	見つけた春	観察のポイント	備考
①	土手&温室脇	1. ツクシ 2. トサミズキ、 3. ヒユウガミズキ	探してみよう。目が慣れると沢山出てきます。 薬：トサミズキは暗赤色、 ヒユウガミズキは黄色	傾斜に注意
②	サイクリングセンター横	1. イヌシデ 2. ケヤキ 3. アセビ	雄花の観察。雌花は新葉とともに新芽の中に 新芽のふくらみ（新葉と花は一度に伸長） 花、スズラン型。虫になって下から見ると、何がみえる？	
③	ふれあい橋ふもと 国際親善の鐘近く	1. ホトケノザ 2. カラスノエンドウ 3. ハコベ	春の草花（各種）	植え込みの際が 探すポイント
④	大噴水を右に回った広場	1. ツバキ（南蛮紅） 2. ハナノキ	ツバキの観察と、ツバキの花の人形作り 花の観察（雄花、雌花）	
⑤	同上、左奥の広場	1. コブシ	花の色（白、ピンク）の観察 コートを脱いだ花芽の様子、花弁の匂いを嗅いでみよう	
⑥	大通り沿い右	1. イロハモミジ 2. ハンノキ	膨らみだした新芽の観察～新赤色が美しい 雌花序と雄花序の観察	
⑦	大通り沿い左	1. ヤブツバキ	花の外に蜜が流れ出している様子の観察 果皮を拾おう（独楽に出来る果皮を探してみよう）	
⑧	彫刻のロータリー左奥	1. ウメ 2. ヤマモモ	紅梅、白梅の香り 雄花の観察、雌花を見つけてみよう	
⑨	マгноリア園	1. マгноリア冬芽、黄色のマгноリア 2. イヌガシ 春の草花（オオイヌノフグリ、 ニホンタンポポ、セイヨウタンポポ）	花芽のコートの産毛を触ってみよう 雌花、雄花の観察 ニホンタンポポ、セイヨウタンポポの違い他	黄色のマгноリア アは4月上旬が 見ごろ

庄内緑地案内図

庄内緑地は、庄内川の小田川取水用を利用した公園で、「水と緑と土曜」のテーマに、野鳥が小鳥の憩い公園として整備を遂げてきました。

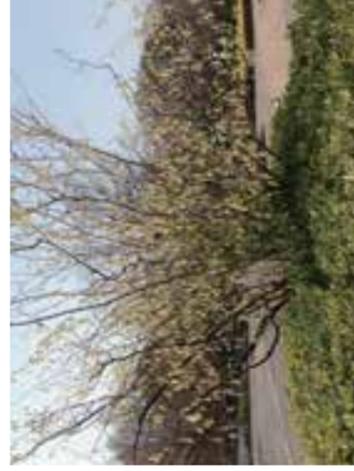


庄内緑地“きせつを見つけよう”《春を見つけよう》 「見つけた春」観察ポイントの写真(1)

① 1.ツクシ



2.トサミズキ



3. ヒユウガミズキ



② 1.イヌシデの花



2. ケヤキの雌花



3. アセビの花



③ 1. ホトケノザ



2. カラスノエンドウ



3. ハコベ



④ 1. ツバキ (南蛮紅)



2. ハナノキの花



⑤ コブシの花



⑥ 1. イロハモミジ、新芽



2. ハンノキ、花



⑦ ヤブツバキ花と蜜



⑧ 1. ウメ



2. ヤマモモ雄花



⑨ 1. マグノリア冬芽



⑨ 2. イヌガシ 雌花



3. イヌガシ 雄花



4. 黄色のマグノリア



おすすめビューポイント

ケヤキ並木



サクラの並木



菜の花畑



庄内緑地“きせつを見つげよう”

《秋を見つげよう》 観察ポイントのリストとコース順

NO	観察の場所	見つけた秋	観察のポイント	備考
①	土手&温室脇	1. 冬桜の並木 2. ヒュウガミズキ	十月桜の並木、見応え十分。 早咲きのヒュウガミズキも咲いています。	1 本だけ子福桜もあり あります
②	サイクリングセンター横	1. イヌシデ 2. ケヤキ	イヌシデの果穂が鈴なりにです。 ケヤキの紅葉と、枝先の小さな実を見つけよう。	
③	ふれあい橋当たり	1. ケヤキの並木 2. トウカエデ紅葉 3. ハナミズキ紅葉	橋入口からの見たケヤキ並木のグラデーション トウカエデ、ハナミズキの紅葉と、ハナノキの遠景	欄干から右手の 紅葉がおすすめ
④	国際親善の鐘の近辺	1. センダンの実 2. ハナノキ紅葉	センダンの実、中の種の形見てみよう ハナノキの色付いた葉、光にかざして楽しもう	地面を探るのが ポイント
⑤	大噴水の奥に進んだ右道 路沿い	1. ハナノキの雄花 2. イロハモミジの実と紅葉	緑色の垂れ下がった雄花を探そう、雌花は少し遅れて 現れます イロハモミジの翼の付いた実を見てみよう	
⑥	大噴水、左奥の一段 上がった植え込み	1. ヒノキバヤドリギ 2. シロダモ、雄花、雌花と赤い実	サザンカの枝に着生しているヒノキバヤドリギを探し てみよう この時期、花も実も見ることができます	翼果を飛ばそう 植え込みの奥を 探そう
⑦	大通り沿い奥の右	1. ムクノキの実	上を見上げると、黒紫色の実がみえます	ムクノキの実は 鳥にも好評
⑧	大通り沿い奥の左	1. ハナノキ紅葉	手近に紅葉が楽しめる	
⑨	彫刻のロータリー左奥の 花木園	1. マグノリアの冬芽	大きな冬芽を観察できます	冬芽の表面は毛 むくじゃら

庄内緑地案内図

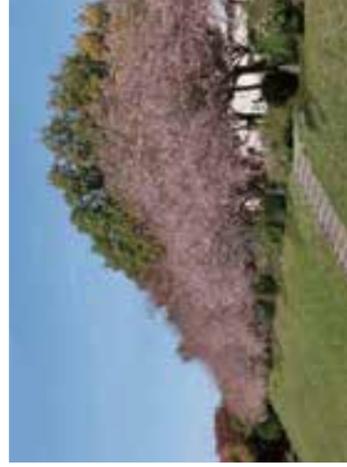
庄内緑地は、庄内川の小田井遊水地を利用した公園で、「水と緑と土曜」をテーマ「ムクノキ(冬)」に、野趣あふれる緑地公園として整備を進めてきました。



庄内緑地”きせつを見つけよう”《秋を見つけよう》

「見つけた秋」の観察ポイントの写真(1)

①1.冬桜の並木



2.子福桜の花



3.ヒユウガミズキの花



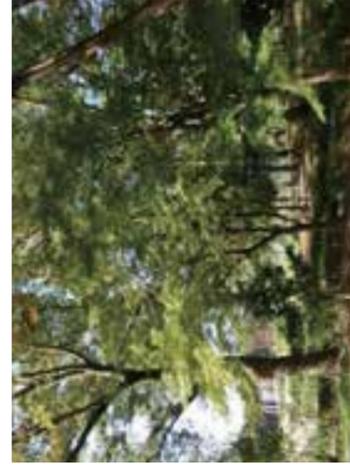
②1.イヌシデ



2.ケヤキの実



③1.ケヤキの並木



2.トウカエデ紅葉



3.ハナミズキ紅葉



庄内緑地”きせつを見つけよう”《秋を見つけよう》

「見つけた秋」の観察ポイントの写真(2)

④1.センダンの実



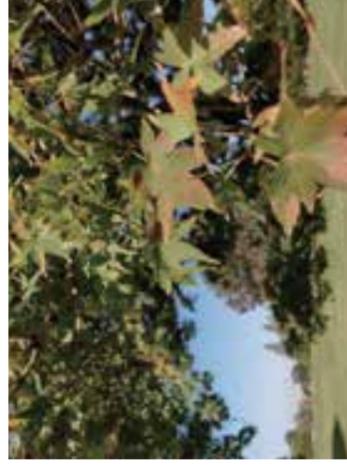
2.ニシキギの紅葉



⑤1.ハンノキの雄花



2.イロハモミジの実



⑥1.ヒノキバヤドギリ



2.シロダモ雄花と実



シロダモ雄花



庄内緑地“させつを見つけよう”《秋を見つけよう》「見つけた秋」の観察ポイントの写真(3)

⑦ 1. ムクノキの実



⑧ ハナノキの紅葉



⑨ マグノリアの冬芽



見どころポイント

ヒマラヤスギの並木



シンボルツリー：ケヤキ



庄内緑地 どんぐり マップ



名称	殻斗	年成	葉っぱ	名称	殻斗	年成	葉っぱ
① クヌギ	棘状	2年成	落葉	⑤ マテバシイ	鱗状	2年成	常緑
② シラカシ	輪状	1年成	常緑	⑥ スタジイ	包状	2年成	常緑
③ アラカシ	輪状	1年成	常緑	⑦ ウバメガシ	鱗状	2年成	常緑
④ コナラ	鱗状	1年成	落葉	⑧ アベマキ	棘状	2年成	落葉

※庄内緑地には“どんぐりの木”が8種類あります。上記以外の場所にもたくさん“どんぐりの木”がありますので、

この“どんぐりマップ”に書き加え“My どんぐりマップ”を作ってみてください。 制作/庄内緑地ネイチャリング/2019.11.23 (改訂版1)

庄内緑地の“どんぐり”カード

1、クヌギ	2、シラカシ	3、アラカシ	4、コナラ
5、マテバシイ	6、スダジイ	7、ウバメガシ	8、アベマキ

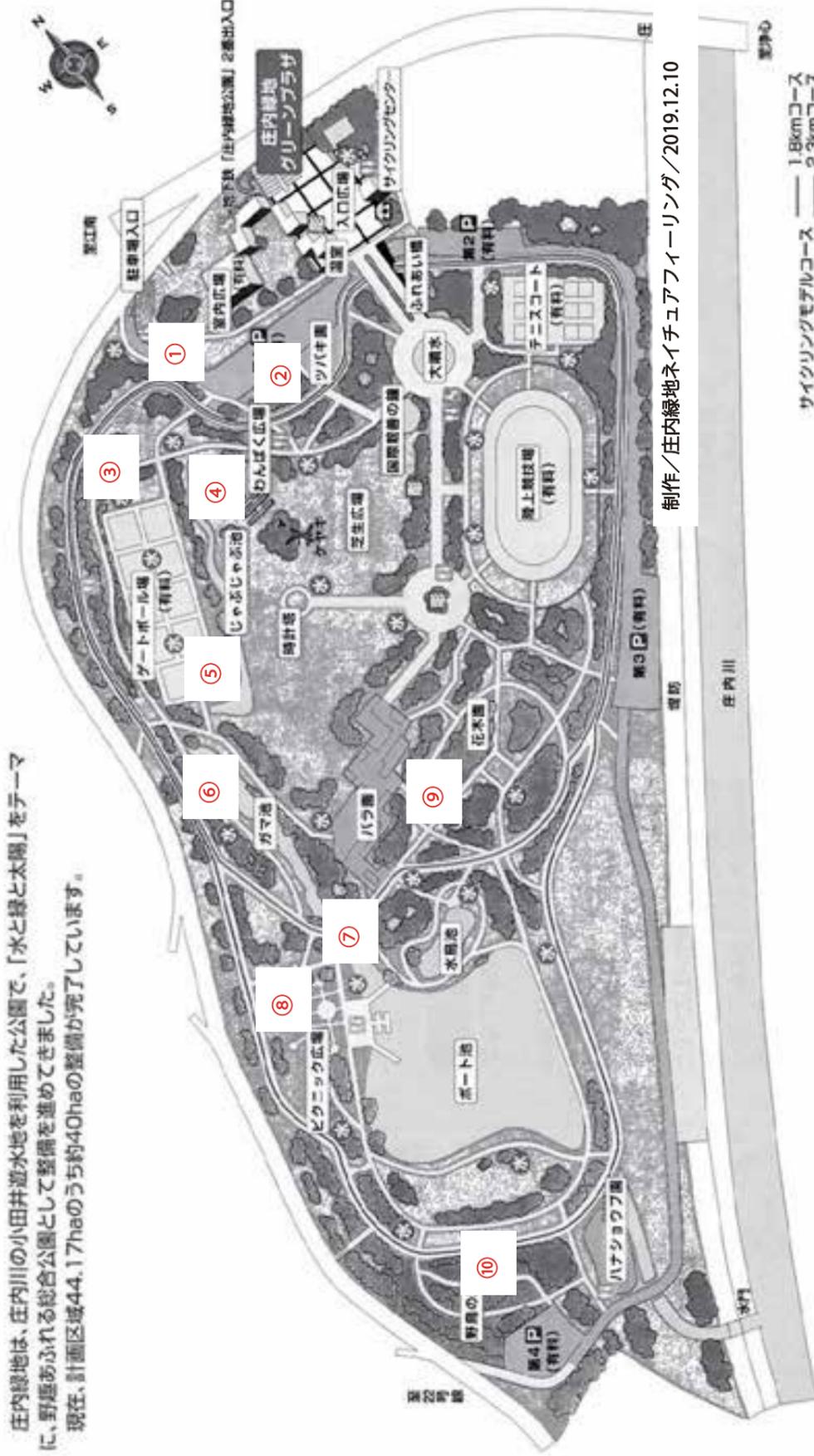
制作／庄内緑地ネイチャアフィーリング／2019.11.23 (改訂版 1)

庄内緑地 昆虫・水辺の生き物分布エリア

庄内緑地案内図

庄内緑地は、庄内川の小田井遊水地を利用した公園で、「水と緑と太陽」をテーマに、野趣あふれる総合公園として整備を進めてきました。

現在、計画区域44.17haのうち約40haの整備が完了しています。



制作／庄内緑地ネイチャアフィーリング／2019.12.10

サイクリングモデルコース 1.8kmコース 2.3kmコース

庄内緑地で見ることのできる昆虫

昆虫とは、体が①アタメ②ムネ③ハラにわかれていて、④ハネが4枚⑤アシが6本というのが基本的な姿です。昆虫は北極や南極の寒い地域から、熱帯のジャングル、高い山から川や海辺まで、どこにでも住んでいます。昆虫の種類は、名前がついているだけでも200万種以上あり、最終的には1000万種を超えていると言われていて、生物の90%が昆虫です。昆虫で日本にも名前がついたもので3万種、最終的には10万種以上の昆虫が住んでいると考えられています。夏休みに、近くの公園でたくさんの昆虫を見つけて楽しみましょう。

セミの種類 セミの種類は世界に約2000種類、日本には32種類が分布しています。愛知県では13種、名古屋市では7種類分布しています。ニイニイゼミは都市部周辺ではすっかり数が少なくなりました。都市化による気温の上昇で乾燥に弱い幼虫に影響がでたとか、群生できなくなり一季に個体数を減らしたと言われていますが、影響ははっきりしません。逆に数が増えているのはクマゼミで、中年以上の人が小さい頃は、思っていたよりも多かったはずですが、恐らく温暖化の影響ですっかり普通種になってしまいました。午前中の集団合唱の声は、アブラゼミよりずっとにぎやかですが、午後にはあまり鳴かない習性の為、午後から夕方迄の鳴き声は、アブラゼミが主流になっています。

チョウの種類：チョウは世界に20000種類、セミの10倍住んでいて、昆虫の中でも身近なものです。日本にはそのうちの約250種が分布しています。愛知県ではその半分の約120種類、名古屋市では、約80種類が分布しています。名古屋市内で通常観察できるのは20種程度です。ギフチョウやヒメヒカゲのように姿を消した種類も多くありますが、一方で最近新しく住むようになったものもいます。ツマグロヒョウモンやナガサキアゲハもここ10～15年前に見られるようになりました。ともに南方のチョウで、近畿地方より拡大してきたものです。これも地球温暖化の影響かもしれません。クロアゲハやアゲハの食樹はミカン科類、アオスジアゲハの食樹はクスノキの為、公園で気をつけて見れば出会うことができます。

トンボの種類：トンボは世界に約5000種類、日本にはそのうち203種類が生息しています。愛知県では90種類、名古屋市でも80種類が分布していますが、河川の護岸工事、池沼の埋め立てや水田への農薬散布により、最近めっきり種類数が減っています。

甲虫の種類：日本のコウチュウ目は約10000種が知られ、昆虫で最も多いグループです。食性は肉食、草食、菌食、絶食等多様で、地中～陸上だけでなく、洞窟内、淡水中でも見られます。体長は1mm未満～約80mm、体形は筒状、箱状など、多様な種を含む。

バッタの種類：日本のバッタ目は、500種弱で触覚の長さや体形でバッタ、コウロギ、キリギリスに大別される。

カマキリの種類：カマキリ目は、日本には約10種が知られ、細長い棒状の体、逆三角形の頭、カマ状の前脚が特徴です。

ハチの種類：ハチ目はアリの仲間を含むととても大きなグループで、日本では4500種以上がいる。生態は多様で女性は植物食、動物食に限らず、他の生物に寄生する種もいる。またミツバチやスズメバチのように、高度な社会生活を行う種がよく知られている。

アリの種類：陸上のさまざまな環境に繁栄しており、日本全国どの地域でも最も見られる生き物である。世界では11500種が報告され、日本でも280種が確認されている。大きな特徴は、女王を中心に個体が巣の中で集団生活することである。

セミの仲間	発生エリア	チョウの仲間	発生エリア	トンボの仲間	発生エリア	甲虫の仲間	発生エリア	水辺の生き物	発生エリア
アブラゼミ	0305799	クロアゲハ	12809	シオカラトンボ	167	ナナホシテントウ	146	ドジョウ	67
ニイニイゼミ	056	アゲハ	12809	コシアキトンボ	67	ナミテントウ	146	ヨシノボリ	67
クマゼミ	1345799	アオスジアゲハ	123499	ウスバキトンボ	16789	マメコガネ	1489	モツゴ	67
ツクツクボウシ	1345799	ゴマダラチョウ	9	オシオカラトンボ	67	ヒメコガネ	189	ウシガエル	67
バッタの仲間	発生エリア	キアゲハ	12809	ナツアカネ	7	コアオハナムグリ	49	アメリカザリガニ	67
オンパバッタ	134566	ヒメジャノメ	24	アキアカネ	7	シロテンハナムグリ	189	ギンブナ	67
シロバネバッタ	35	サトヒメダラヒカゲ	5	チョウトンボ	67	カブトムシ	189	スジエビ	6
アオマツムシ	139	ルリシジミ	1459	ウチワヤンマ	67	タマムシ	9	ミナミヌマエビ	6
シロバネマツムシ	023456	ヤマトシジミ	1459	ギンヤンマ	67	ゴマダラカミキリ	159	マルタニシ	6
ツナイチゴ	12	ベニシジミ	12459	オニヤンマ	67	キボシカミキリ	5	ヒメタニシ	6
エンマコウロギ	123456	ムラサキシジミ	159	ハラビロトンボ	67	ハイロチュウキリ	19	マツモムシ	6
キリギリス	125	ウラナミシジミ	5	シオヤトンボ	67	ハンミョウ	135	ヌマガイ	6
トノサマバッタ	1245	ツバメシジミ	125	ショウジョウトンボ	67	アオドウガネ	12	ヤゴ類	67
カマキリの仲間	発生エリア	ウラギンシジミ	4	アオイトトンボ	67	ヒゲナガゴマズカミキリ	1		
オオカマキリ	136	モンシロチョウ	1299	モノサシトンボ	67	コクワガタ	89		
ハラビロカマキリ	136	キタキチョウ	124599	アリの仲間	発生エリア	その他の昆虫・生き物	発生エリア		
コカマキリ	6	ヒメアカタテハ	1	クロヤマアリ	023599	ナナフシ	12		
チョウセンカマキリ	36	キタテハ	1	トビロケアリ	1259	ヨコズナサシガメ	12		
ハチの仲間	発生エリア	ツマグロヒョウモン	19	ハリブシリアゲアリ	3599	ジグモ	34		
クマバチ	12459	イチモンジセセリ	1245	アメイロアリ	159	ジョロウグモ	123699		
オオスズメバチ	159	チャバネセセリ	459	キイロヒメアリ	0299	コガネグモ	49		
キイロスズメバチ	159	ジャコウアゲハ	9	オオズアリ	129	イラガ	39		
ハナアブ	12459	ルリタテハ	1	アミメアリ	1299	ホタルガ	56		
イラガセイボウ	4	テングチョウ	1	ムネボソアリ	1399	ウズバフユシャク	39		
セグロアシナガバチ	248			カドムネボソアリ	99				
				トビイロシワアリ	129				
				オオハリアリ	19				

注意 上記分布エリアは、2010年1月～2019年11月に確認できた個体で実際には、もっと多くの個体が分布している可能性があります。

庄内緑地ネイチャー・フィーリング自然観察会

庄内緑地・ガマ池で採取できた水辺の生き物

ドジョウ (ドジョウ科)

田んぼや小川の砂底～泥底にすむ。
えらだけでなく、腸で呼吸することができる。
泥にわずかな湿気があれば生きていられます。



モツゴ (コイ科)

口はとても小さく、上向き。
口の前から尾びれのつけ根にかけて細く黒い線がある。大きな川の下流や湖などの底近くにすむ。



アメリカザリガニ (ザリガニ科)

河川中流から下流、池、水田や水路で見られる。
ウシガエルの餌としてアメリカより移植された。



スジエビ (テナガエビ科)

河川上流から河口域、池などで見られる。
縞模様がたくさん入る。ほぼ日本全国で見られ、一般にも馴染みが深いエビ。



ナミヌマエビ (マエビ科)

水田や池に生息する。



▼ヤンマ系のヤゴ



ヌマガイ (イシガイ科) ▶

▼イトトンボ系のヤゴ



ヨシノボリ類 (ハゼ科)

河川の下流から上流、湖沼や池にすむ。
仔魚は海を下り、成長した幼魚はふたたび川を上り、川底でくらす。



ウシガエルのオタマジャクシ (アカガエル科)

非常に大きく何でも食べる。
平地の川や池、沼、用水路で見られる。
水面に広がるようにシート状に卵を産む。



ギンブナ (コイ科)

川の中、下流、湖、池にすむ。
体高はやや高い。ほぼ1年中見られる。
メスしかおらず他の魚の精子が引き金となる。



マルタニシ (タニシ科)・ヒメタニシ (タニシ科)

水路や水田、池などで見られる。
殻は緑褐色でふくらみが強く丸みを帯びる。
越冬するために湿った土に潜る。



マツモムシ (マツモムシ科)

平地～山地の池や沼、水田に多い。
水面下を逆さに泳ぐ。
触ると刺し、とても痛い。



庄内緑地で見ることができる昆虫

セミの仲間



▲アブラゼミ



▲ニイニイゼミ



▲クマゼミ



▲ツクツクボウシ

チョウの仲間



▲クロアゲハ



▲アゲハ



▲アオスジアゲハ



▲ゴマダラチョウ



▲キアゲハ



▲ヒメジャノメ



▲ルリシジミ



▲ヤマトシジミ



▲ツマグロヒョウモン



▲キタチョウ



▲ヒメアカタテハ



▲キタテハ

バッタ・カマキリの仲間



▲オオカマキリ



▲ハラビロカマキリ



▲コカマキリ



▲チョウセンカマキリ



▲オンブバッタ



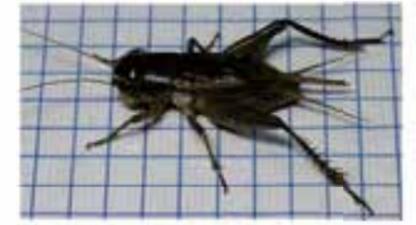
▲ショウリョウバッタモドキ



▲アオマツムシ



▲ショウリョウバッタ



▲エンマコウロギ

ハチの仲間



▲クマバチ



▲オオスズメバチ



▲キイロスズメバチ

アリの仲間



▲クロヤマアリ



▲トビイロケアリ



▲ハリブトシリアゲアリ



▲アメイロアリ

トンボの仲間



▲シオカラトンボ



▲コシアキトンボ



▲ウスバキトンボ



▲オオシオカラトンボ



▲オニヤンマ



▲ハラピロトンボ



▲チョウトンボ



▲ウチワヤンマ



▲ギンヤンマ

甲虫の仲間



▲ナナホシテントウ



▲カナブン



▲シロテンハナムグリ



▲カブトムシ



▲マメコガネ



▲ヒメコガネ



▲タマムシ



▲ゴマダラカミキリ



▲キボシカミキリ

センダン <セリア科>
 ・花は 5-6月 淡い白色の花を咲かせる。花は
 ・実 は 10月に黒く熟し、赤い実がある。
 ・葉は 5-6月、黒く色づく。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。

エノキ <アサ科>
 ・花は 4-5月、淡い黄色の花を咲かせる。
 ・実 は 10月に黒く熟し、赤い実がある。
 ・葉は 5-6月、黒く色づく。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。

ムワナキ <アサ科>
 ・花は 4-5月、淡い黄色の花を咲かせる。
 ・実 は 10月に黒く熟し、赤い実がある。
 ・葉は 5-6月、黒く色づく。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。

ケヤキ <ニレ科>
 ・花は 5-6月、淡い黄色の花を咲かせる。
 ・実 は 10月に黒く熟し、赤い実がある。
 ・葉は 5-6月、黒く色づく。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。

クスノキ <クスノキ科>
 ・花は 5-6月、淡い黄色の花を咲かせる。
 ・実 は 10月に黒く熟し、赤い実がある。
 ・葉は 5-6月、黒く色づく。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。

サクラ <バラ科>
 ・花は 4-5月、淡い黄色の花を咲かせる。
 ・実 は 10月に黒く熟し、赤い実がある。
 ・葉は 5-6月、黒く色づく。
 ・葉の裏面には、卵や幼虫が産みつけられ、
 ・葉は 虫食い被害を受けやすい。

葉っぱノート
 ・葉っぱの観察ノート
 ・葉っぱの観察ノート

雑草園 1.



雑草園 2.



自然観察会 11月24日

どんぐり苗の掘り起こし



どんぐり苗の植え付け



春の自然観察会や親子自然で遊ぼう会で「春を見つけよう」のセルフガイドシートの素材集めと参加の方々の興味のある場所などを探りました。

自然観察会 3月24日



イロハモミジの新芽の観察



ツバキのお姫様、作り

親子自然と遊ぼう会 4月17日



タンポポの観察



ツクシ摘み

自然観察会 5月26日



ルート設定、イロハモミジ



ルート設定、ヤマモモ

どんぐり見つけ

親子自然と遊ぼう会



どんぐり工作

自然観察会 9月22日



どんぐりの説明

昆虫探し

自然観察会 7月28日



秋を見つけよう

自然観察会 11月24日



3. 「しぜんとなかよしフィールドブック」プロジェクトについて

(1) 趣旨

私たちは長年名古屋市環境サポーターとして、名古屋市内の小学校の特別支援学級で環境学習の出前授業の活動をしてきました。活動を通して得た障がいの有無や年齢などの壁を越えて自然の楽しさをすべての人に伝えたいとの思いから特別支援学級の児童生徒が自然のとびらを開くきっかけや体験した自然の楽しさを記録できる「フィールドブック」を作成したいと考えました。

(2) 概要

部員が「春夏のページ」「秋冬のページ」に分かれ、子どもたちの気づきや発見を記録できる「しぜんとなかよしフィールドブック」の作成を目指しました。

子どもが接することができる自然（学校・公園など）の素晴らしさに気づいて今後さらに自然の中でのびのびと成長してくれることを望んで作成にあたりました。

名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科の井垣先生や学生さんの協力があり、完成することができました。

内容は以下の通りです。

- ① 1年間の記録ページ
 - ・花とともだち
 - ・生き物とともだち
 - ・ぼくの木わたしの木
 - ・びっくり図かん
- ② 春夏のページ
 - ・草花あそび
 - ・タンポポを見よう
 - ・春の芽だし
 - ・春のいろいろビンゴ
 - ・ざっそうはかせになろう
 - ・夏のいろいろビンゴ
- ③ 秋冬のページ
 - ・「らくがき」しちゃったよ
 - ・いろいろな形の葉を見つけよう
 - ・葉であそぼう
 - ・木を見よう
 - ・木肌のこすりだし
 - ・秋のいろいろビンゴ

4. 完成した「しぜんとなかよしフィールドブック」

(写真)



5. まとめ

「ユニバーサルデザインで自然の扉を開こう」との事業テーマで、だれでも気軽に庄内緑地の自然を楽しめる仕掛けとしてルートマップで“きせつを見つけよう”作りに取り組みました。

また、特別支援学級向けの「しぜんとなかよしフィールドブック」作りにも挑戦することとしました。二本立ての大きな目標の前に、どのように進めるか、戸惑いがありましたが、庄内緑地NFのメンバーの日ごろから培った庄内緑地の自然に対する豊富な知見に助けられてルートマップ作りを完成させることができました。活動の中で「雑草園」の場を新たに得たことも成果でした。

フィールドブック作りでは編集委員の皆さんが、支援学級でのノウハウを十二分に投入することで充実した内容のフィールドブックを作り上げることができました。

活動の中で、名古屋学芸大学の井垣先生とデザイン学科の学生さん、庄内緑地事務所さん、エコパルのスタッフの方々と、色々な分野の方々の支援をいただいたのも貴重な体験でした。

庄内緑地NFのメンバー全員と、支援いただいた方々のおかげで、素敵な成果物を得ることができ大満足の活動となりました。感謝です。

6. 今後の活動予定

(1) 「きせつを見つけよう」プロジェクト

活動で得られた、ルートマップ、観察ガイド、葉っぱノートにつきましては、庄内緑地に来園した方々が使えるような配布物の検討を庄内緑地事務所に提案していきます。

雑草園の観察を継続するよう、観察会テーマにビルトインします。

(2) 「しぜんとなかよしフィールドブック」プロジェクト

名古屋市環境局との連携で、名古屋市内の全小学校にこの冊子が配布されることになりそうです。(予定) 特別支援学級の児童生徒だけでなく、多くの子どもが自然の扉を開けて自然の楽しさを感じてくれることに期待しています。子ども時の体験が持続可能な社会の達成につながると考えています。

これからも、特別支援学級への出前授業を継続し、このフィールドブックの活用に努めていきたいです。子どもたちと一緒に自然の楽しさをたくさん発見したり感動したりできることを楽しみにしています。

「ユニバーサルデザインで自然の扉を開こう」

活動主体：庄内緑地ネイチャア・フィーリング自然観察会

活動メンバー：浅井、浮洲、大澤、太田、岸、内藤、中村、野津原、

櫻井、新山、鈴木、寺西、服部、森

本冊子はなごや環境大学共育ゼミナール成果物として制作されました。

発行 2020年 3月